

令和元年度事業報告

[はじめに]

令和元年度は、総会（6月27日）において役員が改選され、京極高宣会長、升田忠昭理事長をはじめとする16名の理事、2名の監事の新体制で承認された事業計画に則り事業を実施しました。

公益事業、収益事業ともに計画以上の実績が予測されたが、年度末に近づいた2月、新型コロナウイルス感染症が拡大し、全事業に影響が及ぶことになりました。特に、公益事業の千葉県指定管理事業において、2月、千葉県から休館要請があり、予定していた事業を実施できずに年度は終了、収益事業においても自治体委託事業等の中止が相次ぎました。3月には出勤調整を始めましたが、利用者対面援助が中心の職員は在宅勤務が叶わず、休業手当でもって雇用を続けざる得ませんでした。予定していた収入額も減少しましたが、人件費・事業費も減少したため、予測以上のプラス収支額となりました。令和2年度4月以降、同感染症の脅威は続き、先行き不透明な時代にあって、事業の変革と新しい働き方、体制の再構築といった課題が生まれる結果となりました。

また、令和元年度、WACが内閣総理大臣から税額対象法人として指定を受け（12月18日付）、寄付の税制優遇が「所得控除」のみならず「税額控除」も受けられるようになり、WACの発展性が広がりました。内閣府立入検査（1月16日）も受けましたが、検査の結果、特に指摘注意事項はなく、今後の事業運営について、自治体等からの委託事業の拡大を助言された。実際、WACは、公益事業・収益事業に関わらず総じて自治体からの委託事業を増加しつつあったため、事業展開として進展させていきたい。

理事会の開催

令和元年度理事会は、定款に基づきを以下の通り7回実施しました。

回	日程	主な議題
1	令和元年6月12日	令和元年度定時総会議案
2	〃 6月27日	同上、内閣府報告事項（平成30年度事業報告）
3	〃	新理事による代表理事、業務執行理事の選出
4	〃 7月25日	令和元年度第一四半期各事業報告
5	〃 10月24日	令和元年度第二四半期各事業報告
6	令和2年1月24日	令和元年度第三四半期各事業報告、内閣府立入検査報告
7	〃 3月25日	令和2年度事業計画、内閣府報告事項（令和2年度事業計画）

会員の動向に関して

《個人会員》

令和2年3月末会員数は、個人会員1,040名（正会員136名、賛助会員674名、配偶者会員230名）となり、前年度より110名減少しました。正会員は12名入会し、11名が退会したため1名増えましたが、賛助会員の減少傾向は続いています。

	会費納入		会費未納		合計	
	3月末	前年同月	3月末	前年同月	3月末	前年同月
正会員	116	93	20	42	136	135
賛助会員	474	480	200	285	674	765
配偶者会員					230	250
合計	590	573	220	327	1,040	1,150

	会費納入会員						会費滞納会員				配偶者 会員
	正会員		賛助会員		合計	前年 比	正会 員	賛助 会員	合計	前年 比	
	人数	前年比	人数	前年比							
北海道	2	1	14	1	16	2	0	1	1	-4	10
東北	5	0	45	3	50	3	3	21	24	-11	23
関東	85	18	195	-8	280	10	12	96	108	-38	116
信越	2	0	11	-2	13	-2	0	8	8	-2	4
中部	5	0	65	-1	70	-1	1	22	23	-11	27
近畿	9	2	35	4	44	6	2	14	16	-14	17
中国	4	0	71	-7	75	-7	0	9	9	-13	22
四国	1	1	9	2	10	3	0	12	12	-1	4
九州	3	1	29	2	32	3	2	17	19	-13	7
合計	116	23	474	-6	590	17	20	200	220	-107	230

《法人会員》

法人会員は1社入会があり、3社が退会、合計17社（法人賛助会員12社、団体賛助会員5社）で昨年度19社から2社減少しました。

*印は新規入会

法人 賛助	久光製薬(株)、トッパン・フォームズ株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(一社)日本青少年育成協会、(一財)高齢者住宅財団、(一社)日本健康麻将協会、NPO法人東京山の手まごころサービス、NPO法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構、NPO法人SSSネットワーク、YKK AP(株)、(一社)日本産業カウンセラー協会、旭化成ホームズ株式会社営業推進部内くらしノバージョン研究所*
団体 賛助	NPO法人日本心身機能活性療法指導士会、東友会関東支部、NPO法人りすシステム、(公財)さわやか福祉財団、さをりひろば

事業に関して

【公益事業報告】

〔公1事業〕

《高齢者福祉増進・啓発事業》

○高齢者の福祉・健康・いきがづくり等支援事業 (千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理)

千葉県福祉ふれあいプラザ（ふれプラ）の指定管理者として法令を遵守し、承認された事業計画に基づき、NPO 法人 ACOBA との共同事業体で運営しました。

運営評価

令和元年度は、第四期指定管理（平成 31 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）の初年度であり、第三期最終年度であった平成 30 年度についての会計財政的援助団体等監査（12 月 12 日）が千葉県監査委員事務局によって行われ、実地調査も含め、指摘事項、注意事項なしとの総評を得ました。また、千葉県による指定管理運営状況の評価（平成 30 年度）においても 5 年連続「優良」の総合評価を受けました。

介護実習センター

県民研修のうち一般県民研修は 69 講座、専門職研修は 39 講座、合計 108 講座 4,484 名が受講し、うち出張研修に県内 22 市町村のべ 53 回 2,093 名が受講しました。11 月 15、16 日に開催した千葉県福祉機器展では 1,812 名が参加し、体験コーナー当事者体験は 3,167 名になりました。相談事業は年間 522 件、貸館事業は延べ 1,114 団体 18,175 名が利用されました。

介護予防トレーニングセンター

登録累計者数 1,047 名、年間利用者数は 38,771 名でした。介護予防講習は年間 486 回、延べ 6,733 名が受講しました。

ふれあいホール

文化利用 203 団体 45,376 名、スポーツ利用 885 団体 22,202 名、ギャラリー利用 84 団体 51,309 名、年間利用者数は 118,889 名でした。

千葉県福祉ふれあいプラザ全体の総利用者数は 188,252 名となり、2 月末からの新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時全館休館によって 3 月は利用がほぼなくなりました（5 月末時点でも休館中）。休館にともなう自粛、節約によって、収支を大きくしてストックすることができました。また、千葉県高齢者福祉課により、12 月にトレーニングセンターのエアロバイク 2 台の買い替え、3 月には長年破損等で使用ができなくなっていた県備品の廃棄処分が一部なされ、整理がされました。

6 月以降、再開を目指して、各部門でも新しい世界に適応するために知恵を集結させ、事業計画を修正しながら、新しい取り組みに挑戦していきたいと思えます。

	R1 年度予算	R1 年度実績	H30 年度実績
総利用者数（人）	207,000	188,252	203,695
利用料収入（円）	26,450,000	24,723,980	26,088,360
収支（円）	0	4,921,298	2,848,117

○福祉サービスの質の向上事業

(福祉サービス第三者評価事業)

WAC の福祉サービス第三者事業は、東京都から第三者評価者機関としての認証を受けて実施しています。評価した内容は東京都から公表されます。東京都は年々増加傾向にある第三者評価事業の展望として、

多様性のある施設・事業所と利用者への理解が一層評価機関に求められるだろうとしています。WACは、評価者や事務局員に対して独自に研修や交流会を実施しました。

実績

令和元年度は、収入予算 10,000 千円に対して、収入実績は倍以上の 22,226 千円でした。

評価または利用者調査を行った事業者数は 64 件（評価 58 サービス事業者、利用者調査のみ 6 施設）に上り、契約先の内訳は、自治体（品川区、目黒区、台東区、港区）37 件、民間 27 件と、前年度 50 件から増加、年間 50 件以上の実績は 3 年連続となりました。

サービス事業の種別内訳は、高齢者福祉 47 件（特別養護老人ホーム、ショートステイ、通所介護、認知症高齢者GH、居宅介護支援、訪問介護、軽費老人ホーム）、障害者福祉 10 件（障害者支援施設、ショートステイ、障害者生活介護、障害者GH、就労継続支援B型）、その他として母子生活支援 1 件、公立施設指定管理者 3 件でした。

（単位=千円）

収入実績	支出実績	収支実績
22, 226	20, 834	1, 392

○長寿社会の啓発事業

（「ふれあいねっと（会員向け情報誌）」の発行）

WAC 活動報告特集号として「ふれあいねっと」278 号、災害特集号として「ふれあいねっと瓦版」279 号を各 1,500 部発行し、会員及び関係各所に配布しました。

	主な内容
ふれあいねっと 278 号	定時総会、WAC 会員アンケート結果、WAC ポイント活動一覧、他
ふれあいねっと瓦版 279 号	防災、台風 15 号からのコミュニティ活動、他

（単位=千円）

収入実績	支出実績	収支実績
0	1, 221	-1, 221

【公2事業】

≪高齢者の雇用・就労支援事業≫

（「みたと*しごと55」港区アクティブシニア就業支援センター）

「みたと+しごと55」は東京都及び港区からの委託業務（シニアの無料職業紹介事業）に対し、求職者が安心して相談・登録に訪れることができる環境をつくり、センター自体が魅力的な場所となるよう心がけてきました。相談業務においては、専門のカウンセラー（及びそれに準ずる能力を有する者）が対応し、求職者自身の働き方・職業の選択などについて幅広く考えられるようアドバイスをすることにより、業績的に都内12アクティブシニア就業支援センターでの存在感を示すことができました。

- ①港区シルバー人材センターやハローワーク品川などにおいて、出張登録会や出張相談会等にも積極的に取り組みました。
- ②港区アクティブシニアセンター独自の合同面接会、再就職支援セミナーを年3回、開催することにより、シニア求職者の就職支援を進め就職者に結び付けることができました。
- ③港区内や東京都内のシルバー人材センター、社会福祉協議会、産業の振興等に関わる高齢者雇用促進団体、民間の人材会社などと連携をとり、積極的にシニアの就職に繋げました。

④令和元年度は、東京都主催の東京シニアEXPO、シニア就職キャラバンなどBIGイベントへ参加しました。

⑤令和2年に入り、新型コロナウイルスにより、3月から電話対応のみに切り替え。結果、合同面接会の中止などにより就職者が減少してしまいました。

令和元年度事業補助金収支報告

(単位：円)

区分		総事業費(補助対象額)	区補助金交付額	返還額(交付額－補助対象額)
運営費	人件費	17,811,008	17,913,000	101,992
	事業費	6,734,091	6,897,000	162,909
	計	24,545,099	24,810,000	264,901

令和元年度事業実績報告

	目標	実績	達成率
求職者数	1,900	1,582	83.3%
求人開拓件数	1,900	2,575	135.5%
求人開拓件数延べ人数	3,800	5,509	145.0%
就職者数	240	204	85.0%

【公3事業】

《地域の相互扶助機能活性化事業》

(コミュニティカフェ)

令和元年度(平成31年度)は、WAC本部でステップアップセミナーを8月3日に開催し16人、千葉県福祉ふれあいプラザ県民研修として開設講座全7回を開催し124人、府中市市民活動センターとの共催で開設講座全7回を開催し92人が受講しました。

3月29日に府中市市民活動センターにてコミュニティカフェ全国交流会を開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止となりました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
500	976	-476

【収益事業報告】

〔収1事業〕

《高齢者福祉関係人材育成事業》

・介護職員初任者研修(通信)

東京都社会福祉協議会の委託事業にて、介護職員資格取得支援事業を年2回(7月、11月)開催で予定していましたが、受講生が7月0名、11月2名であったので開催を中止しました。

・ **介護予防・日常生活介護にかかわる生活支援のために担い手の育成事業**

① **福祉・家事援助サービス事業「生活支援サービス研修」委託事業**

シルバー人材センターの会員に、介護予防・生活援助総合事業の訪問型 A の家事援助サービスを行う担い手育成の研修を実施。平成 27 年から受託して今年で 5 年目となります。

年間 6 回開催 : 5 月 25 名、7 月 19 名、9 月 8 名、11 月 15 名、1 月 11 名 合計 78 名

② **八王子市 介護人材養成研修事業業務委託(入門研修・生活支援)**

市内介護サービス事業所における介護人材の確保を図ることを目的に下記の 2 種類の研修及び就職相談会を実施・運営しました。

(1) **生活支援ヘルパー研修**

介護保険法第 115 条の 45 で規定する介護保険・日常生活支援総合事業における訪問型サービス A (緩和した基準によるサービス) 従事者として活動することを希望する方を対象に、必要な知識・技術を習得できるような研修及び研修参加者を対象とした就職相談会を実施。

(2) **介護に関する入門的研修**

市内介護サービス事業所等へ就労を希望している方を対象に、介護職に必要な知識・技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」及び研修参加者を対象とした就職相談会を実施。

生活支援ヘルパー研修及び就職相談会 2 回実施 参加者数 97 名 参加事業所数 10 社

入門的研修及び就職相談会 2 回実施 参加者数 86 名 参加事業所数 10 社

・ **委託事業**

① **生涯現役社会推進事業**

東京しごと財団より委託を受け、昨年度から引き続き実施しました。

東京都内 60 か所にて 55 歳以上のこれから就職活動を始めたいと考えている方、就職活動中の方を対象にシニア世代のライフプランと再就職の現状と考え方を学ぶセミナーを運営・実施。合計参加者数 1,816 名。2 月後半から 3 月末までの期間の 8 回のセミナーは新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

② **八王子市 就職相談会事業業務委託**

八王子市より委託を受け、市内の福祉施設等での就労を希望する者と介護サービス事業所や障害者福祉事業所との就職相談会を年間 2 回実施・運営しました。

第 1 回 6 月 21 日(金) 八王子市生涯学習センタークリエイティブホール

第 2 回 10 月 20 日(日) 八王子市学園都市センター

・参加者数 124 名 ・参加事業所数 42 社

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
35,328	29,380	5,948

〔収 2 事業〕

《 **高齢者・認知症疑似体験事業** 》

・ **高齢者疑似体験**

高齢者疑似体験事業は、行政・企業の研修費用削減などの影響もあり、依然苦戦を強いられたものの新規依頼が多く収入実績は昨年度をわずかに上回ることができました。

うらしま研修及びイベントは年間 32 回実施し、うち新規依頼 12 件、つくし君は台東区委託事業にて昨年度より 2 校多い 18 校 944 名の児童に実施しました。また千葉県にて中学家庭科「介護」が取り入れられることに対応して千葉ふれあいプラザと協同し、中学校家庭科教諭を対象とした高齢者疑似体験モデル授業研修を 8 回開催のほか、開成町イベント、一宮町研修に対応しました。販売では毎年実施している 1 月～3 月のキャンペーンに加え、中国ネットワークセンターのご尽力等により、うらしま 19 セット、つくし君 1 セットを販売しました。

うらしまインストラクター養成研修は、本部では 6 月 6 日・7 日(受講者 15 名)、10 月 3 日・4 日(受講者 15 名)、3 月 5 日・6 日(受講者 6 名)、出張研修としてはじめて沖縄県社協で 10 月 24 日・25 日(受講者 15 名)に実施しました。

3 月のうらしまインストラクター養成研修は新型コロナウイルス感染対策として少人数での開催とし、消毒と換気に留意して通常二人一組で行う実習をひとりにするなど安全に配慮して行いました。

・ **認知症疑似体験**

認知症疑似体験に関しては、昨年度に引き続き多数の問合せがありました。研修は 8 件 9 回、イベントは 3 件実施しました。実施した 11 件のうち新規依頼が 10 件で、今後も新規マーケットの開拓が期待できます。

販売については、成約は 1 件のみですが、年度をまたがっての検討事案があるため、次年度の販売につながるよう働きかけています。インストラクター研修は購入先に対し、出張で 1 回実施しました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
15,015	11,188	3,827

〔収 3 事業〕

《介護予防事業》(品川区委託事業)

- ・ 男の手料理教室、
- ・ 地域活動連携型介護予防事業(わくわくクッキング)、
- ・ 外出習慣化事業(食事処)

高齢者の介護予防事業として、品川区から平成 15 年より委託を受け 16 年目となりました。平成 30 年度まで行っていた健康麻雀がなくなり、令和元年度は料理教室関連のみとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響で 2 月から事業は中止となり、委託料が減額になってしまいました。WAC ポイントの「WAC さしすせそ」と運営しています。

男の手料理教室 年間 2 回 (10 回×2 回×2 会場)	参加者 52 名、延べ 2,080 名
わくわくクッキング年間 3 回 (毎週金曜) 10 回×3 回	参加者 45 名、延べ 1,350 名
大井林町食事処 年間 12 回 (毎月第三火曜日)	参加者 30 名、延べ 360 名

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
4,976	5,824	-848